

第2回健康くしろ21第3次計画検討委員会

日 時：令和5年10月31日（火）19：00～19：40

場 所：市役所防災庁舎4階 健康推進課ホール

出席者：別添座席表のとおり

関係資料：・次第

- ・資料1 各機関・団体の取組調査結果
- ・資料2 健康くしろ21第3次計画素案（案）の概要

1. 開 会

2. 議 事

（1）各機関・団体における健康づくりに関する取組について

（2）第3次計画素案（案）の概要について

議事（1）と（2）を一括して、事務局より資料1・資料2を使用し説明。

⇒⇒ 以下、各委員からの意見・質問等。

□委員長

・各分野で活動されている各委員の健康づくりに関する取組内容等に関して、事務局からの報告に対し、意見等があればお願いしたい。まずは前回の会議で欠席された委員よりご意見願いたい。

◇委 員

・市全体の状況は把握できていないが、がん検診センターの受診者状況となると、元気な75歳以上の方の受診率が高い状況である。

・同じ方が受診していることが多く、新規の方の受診率は下がっていると思われる。

・特別な取組の紹介として、釧路市ではないが、他町村からの依頼を受けて、小学校に出向いて中学年の保護者を対象に、がん検診について普及啓発を行っている。

◇委 員

・学校の様子を見ると、食生活に関して、どうしても朝、寝坊してしまったり、親元を離れての単身生活であることから、食生活の管理が必要というところもあり、学校側としてバランスの取れた朝食を100円で提供するという「100円朝食」を期間限定で実施している。

・心の不調を訴える学生も多く、カウンセリング等を実施しているが、十分に対応できていないこと、また、精神科医療に繋がりにくいといったことも課題となっている。

・各団体の多様な取組を参考にしていきたい。

□委員長

- ・小児科においても「心の問題」があり、不登校や人間関係等に対して、どのようにしたらいいかわからないところが多く、病院の対応も苦慮することがある。
- ・「資料1」の中で、月に1回、「こころの健康相談」を実施していると記載されているが、どのような問い合わせ等があるのか。

◇委員

- ・「こころの健康相談」では、月1回、精神科医が対応しており、申込も多く、なかなか空きがない状況で推移している。
- ・病院にかかれない方等、病院に行く前の相談を受け付け、精神科医と相談しながら実施しており、最近では病院への受診に繋がっている方もいる。
- ・地域の精神科で新規患者を受け入れることが難しい状況もあるため、この取組でなるべく支援していきたいと考えている。

□委員長

- ・各医療機関における一番多い電話相談は、「精神的な不安を感じる」「仕事が上手くいかない」「学校に行きにくい」等の問い合わせであり、病院の1日の電話の1～2割となっている。
- ・このような相談に対して、どのように対応したらよいか、病院以前の部分がどのように変わっていくのか、非常に悩んでいるところである。
- ・精神科医が少ないという、この地域の特に厳しいところがあることから、今後、心の健康という部分での取組を強化していただきたい。

◇委員

- ・当団体の活動地区で地域食堂を個人として実施している。当活動地区では1箇所であるが、この5年間で釧路管内において20箇所以上に増えてきている。
- ・私自身も様々な企業から支援をいただいております、全国的にも企業からの寄付金が増えている。
- ・地域食堂を実施する一つの想いとしては、地域の方々の交流が得られ、一人暮らしのお年寄りや子育て世代の方々が集まり交流することで、悩みや相談を解決できるようになればというところがある。
- ・一人一人が「繋がる場所」をテーマにしており、私と繋がった人で悩みのある人に対して、私が助けるのではなく、私と繋がりのある他の人が助ける、といった繋ぎ合わせることを進めていきたい。
- ・子どもたちの悩みについても楽しく解決できれば、という想いもあり食堂を開設している。
- ・釧路管内にある各食堂とも連携していければ、更なる繋がりが出来ておもしろいものになると思う。

□委員長

- ・地域食堂の取組は、資料上、「栄養・食生活」という分野に入っているが、居場所づくりや、高齢者の認知症予防、子どもたちの心の健康支援にもなる。食育の分野だけでなく、精神的なものであったり、色々な病気を察知するなど、広い分野で重なる活動になるかと思う。
- ・このような活動は、他分野にわたっており、子どもや高齢者の居場所づくりとして役に立っており、不登校や鬱の予備軍を拾ったり、支えたりするものであることから、ぜひ各団体からも地域食堂にサポートいただくなど、本日の会議を契機に何か繋がりをつくっていただけたらと思う。

◇委 員

- ・先日、浦幌町の「うらほろマラソン」に参加した。大きな特徴は1ヶ月位前から「キッズチャレンジ」があり、子どもたちが走る練習をして、地域のお年寄り等がそれを見守ったり、指導されたりして、先程の地域食堂ではないが、居場所づくりや地域の交流ができています。取組であった。
- ・浦幌町と釧路市では別であり、同じようなことは、なかなかできないかもしれないが、各地区においてイベントを実施する中で、地域のお年寄り等に手伝っていただいて、子育て支援をしたり、色々な工夫ができるのではないかと思います。紹介させていただきました。

□委員長

- ・自治体の規模は当然あり、小さいところなのでできることもあるが、小さな町村で行っている取組は大変参考になり、本当に地域づくりというのは、こういう取組だと感じる場所もあるので、そのような視点を盛り込みながら、中核都市ではあるが考えていかなければならない。

3. 閉 会

- ・今後の手続きとして各委員に対して、計画素案（案）の内容確認のための意見照会を行うことについて協力依頼。
- ・意見照会后、計画素案を確定させ、12月中旬から1月中旬までの期間でパブリックコメントを実施し、来年2月上旬頃、最後の第3回委員会を開催する旨説明。